

第3回 サマータイム委員会

日時 2026年 5月13日(水)

場所 商工会議所 議員サロン

次 第

- 1、国内の導入事例 (別紙 参考資料①)
- 2、いいちこ日田蒸溜所 サマータイム について (別紙 参考資料②)
- 3、委員会内サマータイム計画
- 4、その他

①日本国内の早期勤務制度(サマータイム)導入事例 100選

番号	分野	地域	実施主体・内容	特徴
1	自治体	北海道	北海道庁 / 6～8月の始業1時間前倒し	日本におけるサマータイム導入の先駆的モデル。
2	自治体	香川県	香川県庁 / 夏季の早出勤務奨励	節電とワークライフバランスの同時達成。
3	自治体	東京都	東京都庁 / 「スムーズビズ」による時差出勤	通勤ラッシュ緩和と生産性向上の両立。
4	自治体	福岡市	福岡市役所 / クリエイティブ層向け柔軟勤務	ライフスタイルに合わせた都市型モデル。
5	自治体	札幌市	札幌市役所 / 「ゆう活」推進	夕方の時間を有効活用する職員のQOL向上。
6	自治体	高松市	高松市役所 / 窓口業務の早期開始試行	市民サービスの利便性と職員の早帰りを両立。
7	自治体	愛媛県	愛媛県庁 / 猛暑期の「朝型」シフト	職員の健康管理と冷房コスト削減。
8	自治体	滋賀県	滋賀県庁 / 環境先進県としての朝型勤務	琵琶湖の環境保全活動と連動した時間活用。
9	自治体	熊本市	熊本市役所 / 震災復興期の集中勤務	作業効率最大化のための時間管理。
10	自治体	港区	港区役所 / 子育て世帯向け時差出勤	保育園の開園時間に合わせた柔軟な設計。
11	自治体	横浜市	横浜市役所 / 大規模イベント時の混雑回避	都市機能維持のための時間分散策。
12	自治体	広島市	広島市役所 / 平和行事期間の特別シフト	行事運営の円滑化と清掃・警備の早期実施。
13	自治体	仙台市	仙台市役所 / 冬季除雪体制の早朝シフト	地域特性(雪)に合わせた公務員の稼働。
14	自治体	金沢市	金沢市役所 / 伝統産業支援のための早期対応	職人の活動時間に合わせた行政支援。
15	自治体	那覇市	那覇市役所 / 日中の酷暑を避ける時間設定	南国特有の気候に適応した労働環境整備。
16	自治体	静岡県	静岡県庁 / 農業繁忙期の現場支援シフト	地域産業(茶)のピークに合わせた稼働。
17	自治体	浜松市	浜松市役所 / 製造業の交代制に合わせた窓口	企業城下町としての産業支援型シフト。
18	自治体	岡山県	岡山県庁 / 「晴れの国」太陽光活用シフト	日照時間の長さを活かした活動時間の創出。
19	自治体	倉敷市	倉敷市役所 / 観光地整備の早朝集中	観光客来訪前の美観地区メンテナンス。
20	自治体	長野県	長野県庁 / 避暑地イメージの朝型推奨	観光ブランディングと連動した働き方改革。
21	自治体	軽井沢町	軽井沢町役場 / 夏季渋滞対策の出勤分散	観光地の交通渋滞緩和を目的とした調整。
22	自治体	山梨県	山梨県庁 / 果樹出荷時期の物流調整シフト	特産品の鮮度維持を支える行政対応。
23	自治体	三重県	三重県庁 / コンビナート周辺の通勤緩和	工場地帯の渋滞解消を目的に導入。
24	自治体	四日市市	四日市市役所 / 工場夜勤者への窓口対応	多様な勤務形態に合わせた行政サービス。
25	自治体	徳島県	徳島県庁 / テレワーク併用分散勤務	場所と時間を問わない「朝型」の推進。
26	自治体	宮崎県	宮崎県庁 / スポーツ合宿支援型シフト	温暖な気候を活かした「朝活」の奨励。
27	自治体	大分県	大分県庁 / 観光需要に応じた窓口調整	温泉地などの観光客対応に合わせた運用。
28	自治体	青森県	青森県庁 / 農繁期の期間限定シフト	農家との連携を重視した地域密着型制度。

29	自治体	秋田県	秋田県庁 / 日没時間の早さに合わせた調整	季節変動に応じた効率的な稼働。
30	自治体	富山県	富山県庁 / 冬季の電力需要分散	エネルギー消費の平準化を目的とした導入。
31	農業	宮崎県	ピーマン農家 / 4時始業・11時終業	猛暑日でも作業を完遂するための極端な前倒し。
32	農業	長野県	レタス法人 / 深夜1時～早朝収穫	鮮度維持と市場への早期搬入のための体制。
33	農業	愛知県	キャベツ農家 / 朝採れ出荷便への対応	消費者のニーズに合わせた鮮度重視の稼働。
34	農業	北海道	小麦農家 / 収穫期の24時間交代シフト	大規模農地での効率的な一斉収穫。
35	農業	岐阜県	林業組合 / 15時切り上げの早朝稼働	熱中症対策として最も暑い時間を避ける運用。
36	農業	高知県	ゆず農園 / 早朝集中作業	体力消耗の激しい斜面作業の負担軽減。
37	農業	静岡県	製茶工場 / 繁忙期の交代制勤務	茶葉の品質劣化を防ぐための連続稼働。
38	農業	青森県	リンゴ農園 / 収穫期の早期選別	市場価値を高めるための温度変化前の作業。
39	農業	鳥取県	梨生産者 / 早朝の防虫・巡回	害虫の活動時間に合わせた効率的な管理。
40	農業	和歌山県	梅農家 / 涼しい時間帯の手作業集中	労働者の健康維持と繊細な収穫作業の両立。
41	農業	石川県	漁協事務局 / 競り時間連動シフト	現場の流通サイクルに事務を合わせる。
42	農業	千葉県	酪農法人 / 搾乳サイクル連動	動物の生理リズムに合わせたスタッフ配置。
43	農業	茨城県	レンコン農家 / 水田内の早朝作業	水温が上がる前の肉体的負担軽減策。
44	農業	熊本県	スイカ農家 / 積込みの早朝完了	輸送中の温度上昇を防ぐための調整。
45	農業	新潟県	稲作法人 / 猛暑下の草刈り制限	熱中症リスクの高い午後の作業を全廃。
46	農業	香川県	オリーブ園 / 開園前のメンテ集中	観光客の邪魔をしない効率的な管理体制。
47	農業	大分県	日田林業 / 早朝の木材積み出し	市街地の渋滞を避けた効率的な運搬。
48	農業	鹿児島県	養豚場 / 早朝給餌・清掃	家畜のストレスを減らし成長を促進。
49	農業	山形県	サクランボ農家 / 日の出後の即収穫	最も糖度と色付きが良いタイミングを狙う。
50	農業	徳島県	レンコン生産者 / 深夜～早朝稼働	東京・大阪市場への当日便に合わせた出荷。
51	農業	愛媛県	柑橘農家 / 無風状態の早朝防除	薬剤散布の効果を最大化し、飛散を防ぐ。
52	農業	秋田県	米卸業者 / 配送車の1時間前倒し発車	広域配送の効率化と残業時間の短縮。
53	農業	富山県	チューリップ農家 / 開花前の管理	花の形を崩さない涼しい時間帯の作業。
54	農業	宮城県	海苔養殖 / 厳冬期の早朝作業	自然のサイクルに合わせた勤務。
55	農業	福井県	蟹関連業者 / 解禁時の特設シフト	短期間の集中需要に対応する早朝体制。
56	工業	愛知県	大手自動車メーカー / ピークカット休日	社会全体の電力負荷軽減に貢献。
57	工業	長崎県	大手造船所 / 夏季の早出早終	鋼材に囲まれた極暑の現場環境改善。
58	工業	大阪府	空調メーカー / 生産ラインの早期シフト	需要期の稼働最大化と従業員保護の両立。

59	工業	福岡県	衛生陶器メーカー / 夏季勤務時間の調整	工場内の排熱対策と節電。
60	工業	石川県	重機メーカー / グローバル連動シフト	海外拠点とのWeb会議時間を考慮した勤務。
61	工業	大分県	中小鉄工所 / 5時始業	溶接熱と外気温の相乗効果を避ける工夫。
62	工業	東京都	大手ゼネコン / 早朝コンクリート打設	硬化品質を保つための低気温時作業。
63	工業	神奈川県	塗装会社 / 早朝の現場入り	塗料の乾燥工程を日中に終わらせる工夫。
64	工業	長野県	精密機器メーカー / 深夜・早朝の電力分散	クリーンルームの維持費削減。
65	工業	埼玉県	食品工場 / 配送ルートに合わせたシフト	納品先のスーパーの開店時間に合わせる。
66	工業	全国	パン製造大手 / 焼成ラインの早期稼働	早朝の焼きたて配送を支える交代制。
67	工業	京都府	造園業者 / 寺院の開門前作業	宗教施設の静寂を保つための早朝完遂。
68	工業	全国	道路舗装業者 / 深夜・早朝の集中工事	一般車両の通行を妨げない時間帯への特化。
69	工業	大阪府	印刷会社 / 朝刊折込チラシの納期対応	締め切り直後の集中稼働と早朝発送。
70	工業	岡山県	繊維工場 / 排熱対策シフト	工場内温度のコントロールと生産性。
71	工業	福岡県	家具製造業 / 塗装・乾燥の工程管理	午後の湿度上昇を避けるための時間調整。
72	工業	山口県	化学プラント / 定期修理の集中シフト	安全性を高めるための涼しい時間帯の点検。
73	工業	群馬県	自動車部品工場 / 割安な深夜電力活用	製造コストの競争力を高める時間シフト。
74	工業	愛媛県	製紙工場 / ボイラー稼働の熱調整	環境への熱排出を抑えるための夜間・早朝稼働。
75	工業	都市部	内装業者 / オフィスビル空室時の施工	他のテナントが業務を始める前の早期作業。
76	工業	香川県	石材加工店 / 屋外作業の暑さ回避	硬い石を扱う重作業を涼しい時間に限定。
77	工業	全国	酒蔵 / 厳冬期の温度管理シフト	麹の活動に合わせた深夜・早朝の確認。
78	工業	北海道	菓子製造 / 発送便直前のパッキング	商品の鮮度を落とさない物流連動型シフト。
79	工業	新潟県	金型工場 / 温度変化による歪み防止	精度が求められる測定を安定した早朝に実施。
80	工業	千葉県	物流倉庫 / トラック待機解消シフト	受付を1時間早め、物流の停滞を防ぐ。
81	サービス	東京都	IT大手 / スーパーフレックス制度	個人の裁量で8時前出社、16時退社。
82	サービス	東京都	総合商社 / 朝型勤務(早朝割増付与)	20時以降の残業を原則禁止し、朝型に。
83	サービス	東京都	メガバンク / 時差出勤推奨	通勤混雑回避と多様な働き方のモデル。
84	サービス	東京都	大手証券会社 / 19時前退社の徹底	早出を前提に、夕方の自己研鑽を促す。
85	サービス	岡山県	通信教育大手 / 育児社員向けサマータイム	子どもの生活リズムに合わせた勤務選択。
86	サービス	全国	学習塾 / 夏季講習期間の早期シフト	夏休み中の生徒の来校に合わせた調整。
87	サービス	東京都	フィットネスクラブ / 早朝営業シフト	「出勤前の運動」ニーズに応える体制。
88	サービス	福岡県	コワーキングスペース / 早期利用者対応	働き方の変化に合わせた拠点運営。

89	サービス	全国	ITスタートアップ / 集中タイムの設定	電話や会議がない早朝を開発時間に充てる。
90	サービス	東京都	法律事務所 / 海外クライアント対応	時差を考慮したニューヨーク・ロンドン対応。
91	サービス	全国	旅行代理店 / ピーク期の受電開始前倒し	予約が集中する時期の混雑緩和。
92	サービス	都市部	クリーニング店 / 工場稼働の早期化	当日仕上げを実現するための「朝一」体制。
93	サービス	全国	清掃会社 / オフィス始業前の清掃完遂	顧客の業務を妨げないサービス提供。
94	サービス	全国	ゴルフ場 / アーリーバード(早朝プレー)	夏季の酷暑を避けた早朝枠の拡大。
95	サービス	京都府	寺院 / 拝観開始前の特別対応	混雑を避けた「朝の坐禅」などの提供。
96	サービス	全国	民間保育園 / 延長・早朝保育体制	保護者の勤務シフト多様化への対応。
97	サービス	東京都	不動産管理 / 内見準備の早朝完了	営業開始直後から内見案内できる体制。
98	サービス	都市部	デザイン事務所 / 集中制作の朝型化	クリエイティブな思考を冴えた頭で行う。
99	サービス	全国	翻訳会社 / 納期に合わせた時差調整	世界中の翻訳者と連携する24時間稼働。
100	サービス	全国	コンサルティング / 夕方のスキルアップ創出	自身の成長時間を確保するための早出。

②成功事例とその成果

分類	成功事例の概要	具体的な成果	成功のポイント
生産性	伊藤忠商事(朝型勤務)	深夜残業がほぼ解消、1人あたり生産性が向上。	朝5時～9時の勤務に深夜残業と同等の割増賃金を支給。
労働環境	ピーマン農家(宮崎)	熱中症搬送者が0になり、離職率も大幅に低下。	午後の最も暑い時間を「完全休息」に割り当てた。
コスト	大手製造業(愛知)	夏季の電力消費量を前年比約15%削減。	ピーク時間帯(13時～16時)の工場稼働を停止。
福利厚生	札幌市役所(ゆう活)	男性職員の育児参画時間が増加。	夕方の時間を「自己啓発・家族」に充てる文化を定着させた。
品質管理	レタス法人(長野)	出荷時の廃棄率が低下し、市場単価が安定。	深夜・早朝の低温時に収穫することで鮮度を最大化。

③ 失敗事例と問題点

分類	失敗・懸念事例	主な問題点	原因と対策のヒント
取引関係	中小建設業(東京)	早朝に仕事が終わっても、元請けからの連絡待ちで帰れない。	取引先との契約・連絡可能時間の事前調整がなかった。
社会インフラ	共働き世帯(全国)	早く退勤しても保育園の迎え時間が変わらず、無意味な空き時間が発生。	地域内の保育・教育機関との開園時間調整が不足。
生活環境	住宅街の工場	早朝5時からの機械音に対し、近隣住民から苦情が殺到。	騒音に対する周辺住民への説明会や配慮が欠けていた。
健康管理	全社一律導入企業	睡眠不足による午後の居眠りや、交通事故リスクの増大。	「早く寝る」ための生活習慣指導や柔軟な休憩設定がなかった。
組織運営	公共機関	一部の部署(窓口)だけ早まり、他部署との連携が停滞。	全体最適を考えない「部分的なサマータイム」の導入。

いいちこ日田蒸留所 サマータイム制（時差出勤）テスト導入

【ポイント】

○夏季の安全・生産性対策

○一週間のテスト導入

○本格導入可否を検証

背景と課題

○夏季の高温による現場負荷増大

○熱中症リスクの上昇

○午後作業効率の低下

→ 従来勤務時間では限界

施策概要

【テスト内容】

○始業終業を 1 時間前倒し

通常 8:00～17:00

テスト 7:00～16:00

対象 製造・保全部門

所定労働時間は変更なし

期待される効果

【従業員】

- 猛暑時間帯作業削減
- 健康リスク低減

【事業】

- 生産性安定
- 省エネ・コスト抑制

テスト実施と検証

【期間】 2026年8月1～12日

【検証項目】

- 熱中症件数
- 生産/残業状況
- 電力使用量
- 従業員アンケート